

## 成長できたこと

校長 水戸 巖

先日、あるテレビ番組で今年逝去されたオリンピック金メダリスト（柔道）の古賀稔彦さんを取り上げていました。私の知り合いに古賀さんにそっくりな方がいて個人的に親しみを感じているとともに、その豪快な戦いぶりや生き様に惹かれ、学級担任時代はそのエピソードを講話のネタにもしていました。

その古賀さん。現役を引退した後、夢でもあった自宅の1階部分に柔道場を作り、「古賀塾」を開きました。「柔道だけでなく、人間形成の場としたい」と道場に掲げられたのが、右の「塾五訓」です。

さて、7月5日（月）に中越地区大会報告会を行いました。これに先立ち、学年朝会でも大会を終えての感想を述べる機会を設けています。

報告・感想発表の中で、代表生徒が大会や部活動を通して成長できたこと、頑張れたことを述べてくれました。例えば、

- ・「自分から行動する」ことを心がけた。応援や片付けなど自ら進んで行うことができた。
- ・励ます言葉をかけられたことが部活動をやっていてよかったこと。これから自分がどんなステージに行っても仲間を励ますことを意識して行動していきたい。
- ・成長できたことは、集中して最後まで諦めないチームになれたこと。
- ・「自己研鑽と日頃の意味のある言葉かけ」が具体的な行動となって表れたのでよかった。
- ・仲間とボールをつないで点を取った喜び、仲間の失敗を責めずチームで勝利に向かうことなどたくさんのことを学んだ。

などです。



また、後輩に、「大切にしてほしいこと」として、

- ・礼儀。あいさつや返事だけではなく、スポーツマンシップを大切にしてほしい。
- ・信頼。苦しい時、つらい時、チームと保護者の皆さんの支えがあったから乗り越えられた。仲間を信じ誰からも応援されるチームに。

- ・連携。勝つためには連携してプレーすることが大切。悔いの残らない部活動に。などとメッセージをおくっていました。

大会や部活動をとおして、先に示した「塾五訓」などの大切さを体得してくれたのではないのでしょうか。「あきらめからは決して何も生まれません」「周囲からのサポートを得るためには気遣いのできる人間になること。仲間への思いや感謝が試合では力になる」これも古賀さんの言葉。これらの言葉、そして経験して得たこと。これからも大切にしてほしいですね。

# 陸上・女子 200m、北信越大会へ

～ 通信陸上大会報告 ～

7月2日（金）、3日（土）にビッグスワンで通信陸上大会が行われました。この大会は、これまでの大会や記録会で基準となる記録を突破し、参加資格を得た選手のみが参加できる大会です。当校からは、女子2年100m（2名）、女子共通100mH、女子共通200m（2名）、4×100mリレーに出場しました。

結果は、右のとおりです。共通200mについては、繰り上げではありますが、2名とも北信越大会の出場権を獲得しました。

## 新潟県通信陸上大会・入賞！

◎共通女子 200m	5位
◎2年100m	6位
//	7位

## 祝・北信越大会出場権獲得！

◎共通女子 200m	
//	



## よいよい授業づくりを目指して

見附市では、教員の指導力の向上を図り、子どもたちが「分かる、できる」を実感できるように「師がく」という研修を実施しています。市が指導者を派遣し、授業者とマンツーマンで研修を進めています。「意図が明確な発問とわかりやすい指示」「児童生徒の考え方や発言を生かした学習」など、各々がテーマを設けて授業力向上に努めています。



## ご覧ください！ 『かけはし』(50号)

県教育委員会作成の広報紙「かけはし」の50号が発行されました。これは、県教育委員会と家庭・地域をつなぐ広報紙として、県教育委員会の取組について広く理解していただくことを目的に年2回発行しているものです。昨年度より、電子配信のみとなっていますので、県教育委員会のホームページから、または以下のURLからご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ご覧ください。